

記事掲載：2023年2月

翻訳：2023年2月

## 世界の指導者たちがハイレベル増資会合で、 8億2600万米ドルを超える ECW への資金提供を誓約



©Education Cannot Wait

世界の指導者たちは、約 8 億 2600 万米ドルを ECW に拠出し、危機的状況にある 2 億 2200 万人の女の子と男の子の教育を支援することを発表しました。この画期的な発表は、2 月 16～17 日にスイスのジュネーブで開催された [ECW ハイレベル増資会合](#) で行われました。これは、持続可能な開発目標 (SDGs) に示された、「2030 年までにすべての人に教育を提供する」という世界的な約束を実現するための重要なステップです。

5 つの新規ドナーを含む 17 のドナーが、ECW への拠出を発表し、これは緊急事態や長期化する危機における教育、そして ECW にとって歴史的な出来事となりました。新たな「戦略計画 2023-2026」が始まって 1 カ月余り、これらの重要な資金は、ECW の 4 年間の戦略計画を実施し、[2000 万人の子どもと思春期の若者](#) を支援するために必要な 15 億米ドルの半分に相当します。

ウクライナ戦争、世界経済の不確実性、過去最高の強制移住と人道危機が、アフリカ、アジア、中東、ラテンアメリカで開発の成果を削っている中、今回の新しい誓約は、緊急事態や長引く危機における教育のための資金調達を国際的な課題の最上位に据えるという発信にもなりました。

世界では、紛争、気候変動、強制移住、その他の長期的な危機の影響を受けた 2 億 2200 万人の子どもが質の高い教育を必要としています。ECW はパートナーとともに、子どもたちに、安全、希望、機会を提供する唯一の手段である総合的な教育支援を牽引しています。

「教育なくして民主主義はありえません。私たちは将来の世代に十分な教育を受けさせる必要があります。すべての国の平和、自由、繁栄は教育にかかっているのです」とスイスのイグナツィオ・カシス大統領は述べました。

スイス政府は、ECW、コロンビア、ドイツ、ニジェール、ノルウェー、南スーダンとともに、ハイレベル増資会合を共催しました。民間との革新的なパートナーシップにより、チューリッヒ・カントナル銀行（アンカー投資家が加わることが条件）は、緊急事態や長期化する危機における教育のための国連グローバル基金である ECW に継続的な資金を動員することを約束しました。

ドイツは現在も ECW の最大のドナー国です。「あまりに多くの子どもたち、特に女の子が、貧困と絶望の循環から抜け出し、より良い未来のための手段である、質の高い教育を受けられないでいるのです。私たちはこの世代を失うわけにはいきません。今回の約束は、最も脆弱な何百万人もの若者に希望を与えることにつながるでしょう。ドイツはすでに昨年、こうした子どもたちを支援する戦略的計画を今後 4 年間にわたり 2 億 1000 万ユーロで支援することを発表しています。今回、私たちは他の多くのドナーを得ました。私たちは共に、共通の責任を担っています。しかし、はっきりさせておきたいのは、私たちの共同努力はここで終わらせることはできず、今後も続くということです」と、経済協力開発大臣のスヴェンヤ・シュルツェは述べました。

英国はこの日、ECW への新たな資金として、過去最大となる 8000 万ポンドの拠出を発表しました。この多額の拠出により、同国は継続して ECW への拠出が 2 番目に大きいドナーであり続けています。「私はニジェールから戻ったばかりですが、そこで教育が紛争や食料不足で強制避難した若者の生活をどのように変えているか見てきました。ロシアのウクライナへの不当な侵攻、トルコとシリアでの大地震、そして忘れてはならないアフガニスタンでの残酷な女の子の就学禁止など、危機におかれた子どもや若者を教育することは、私たちが直面する最大の課題のひとつです。私たちは、戦争、災害、強制移住の恐怖にさらされている 2 億 2200 万人の子どもや思春期の若者を見捨てないために、緊急下における教育への取り組みを新たにします。教育はより良い未来への命綱を提供することができます」と外務・開発省大臣アンドリュー・ミッチェルは述べています。

カナダは、ハイレベル誓約セッションにおいて、8,750 万カナダドルの新たな資金拠出を発表しました。「カナダは、危機的状況や緊急事態にいる子どものためのプログラムの効果を高めるために、ECW など世界的パートナーと協働しています。もし私たちが緊急に、そして連携して行動しなければ、危機的な状況で暮らす子どもたちを置き去りにし、世界はその可能性をすべて見逃してしまう恐れがあるのです。すべての子どもた

ちが質の高い教育を受けられるよう、私たちはパートナーとともに支援を続けていきます」と、国際開発大臣兼太平洋経済開発庁担当大臣のハルジット・シン・サージャンは述べました。

ハイレベル増資会合では、グローバル企業連合、イタリア、カタール、スペイン、チュールヒ・カントナル銀行が初めて ECW に拠出を表明し、多くの新しいパートナーが ECW のドナーリストに加わりました。

伝統的なドナー、非伝統的なドナーの双方からの拠出、そして政府、国連機関、民間セクター、市民社会団体、その他の戦略的パートナーからの支援によって、危機に瀕した子どもたちへの教育の提供を変革し、世界中で包括的な教育を実施が促されています。

「国際コミュニティとして SDGs を達成すること、特にすべての女の子と男の子が学校に通い、その潜在能力を十分に発揮できるようにするという約束を実現するために団結しなければなりません。これは、混沌の中にある平和への投資であり、不確実性の中にある経済的安全への投資であり、危機の中にある子どもたちの将来の希望への投資です」と、国連世界教育特使で ECW のハイレベル運営グループ議長を務めるゴードン・ブラウンは述べています。

最後に、ECW 事務局長のヤスミン・シェリフが、ドナーへの感謝を述べるとともに、世界の指導者たちに ECW への資金拠出を呼びかけ、ハイレベル増資会合を締めくくりました。

シェリフ事務局長は、「今回、私たちは、紛争や気候変動、その他の危機の影響を受けている子どもたちが、質の高い学習の機会を得られるようにするための世界的な取り組みに歴史を刻みました」と述べました。「アフガニスタン、シリアや他国における相互に関連する危機への世界的な対応を強化し、子どもを置き去りにしないようにしなければなりません。私たちは、機会があればどこでも、新しく革新的な資金を動員し続けます。15 億米ドルの目標額に達したとしても、私たちはそこで止まりません。今回の寛大な貢献により、私たちは危機の影響を受けた 1000 万人の子どもたちに質の高い教育を提供することができます。これは私たちの人類への投資です。これは、世界中で最も取り残された人々のための普遍的な人権、平等、機会のための私たちの約束なのです」と語りました。

【翻訳前の記事（英語）】

[World Leaders Announce Over US\\$826 Million in Pledges to Education Cannot Wait at High-Level Financing Conference](#)